

[標準様式例 7-3]

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 2 施工履歴データを活用した出来形管理検討業務
業 務 概 要	本業務は、ICT土工において従前から実施している3次元出来形管理の省力化を図るため、バックホウ等のICT建設機械から得られる施工履歴データを用いた出来形管理手法について検討を行い、出来形管理要領類素案の作成を行うものとする。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 石原 康弘 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和 2年 6月 15日
契 約 業 者 名	一般社団法人日本建設機械施工協会
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区芝公園三丁目5番8号
契 約 金 額	¥ 20, 350, 000円 (税込み)
予 定 価 格	¥ 20, 438, 000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務は、ICT土工において従前から実施している3次元出来形管理の省略化を図るため、バックホウ等のICT建設機械から得られる施工履歴データを用いた出来形管理手法について検討を行い、出来形管理要領類素案の作成を行うものとする。 本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、知識、経験、および業務への取り組み姿勢などを含めた技術提案を求め、簡易公募型プロポーザル方式により選定を行った。 (一社)日本建設機械施工協会は、技術提案書をふまえて当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内及び発注者の指示する箇所
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 ( 自 )	令和 2年 6月 16日
履 行 期 間 ( 至 )	令和 3年 2月 26日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

### 備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。